

参考資料

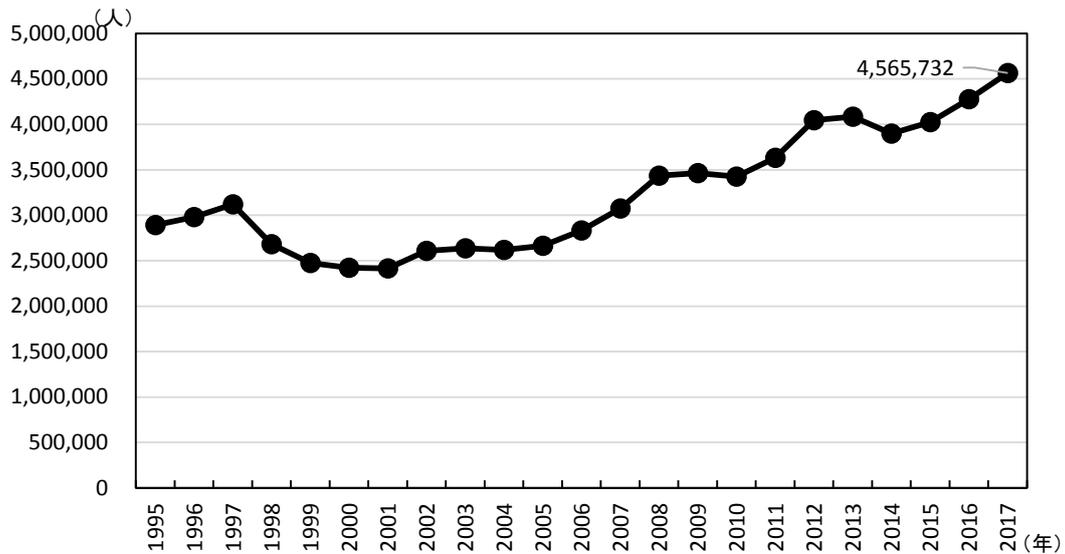
既存資料や先進地視察で得られた参考情報を、項目ごとに整理したものです。

1. 宮島に関するデータ

■宮島の観光客数

- 宮島の観光客数は、2000年代前半には200万人台で推移していたが、2007年に300万人、2012年に400万人を突破し、2017年には457万人に達している。

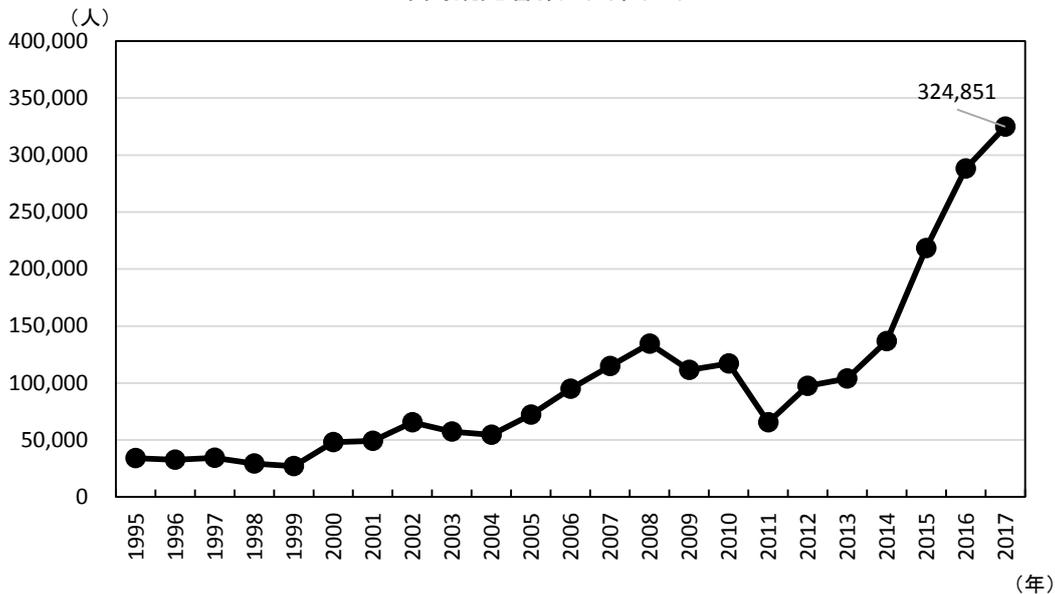
年間観光客数（全体）



(資料) 廿日市市

- なかでも外国人観光客数は、近年急増しており、2017年には32.4万人となっている（観光客数全体の7.1%に相当）。ただし、広島市への外国人観光客数117万人（2016年）から考えると、統計以上の外国人が来島しているものとみられる。

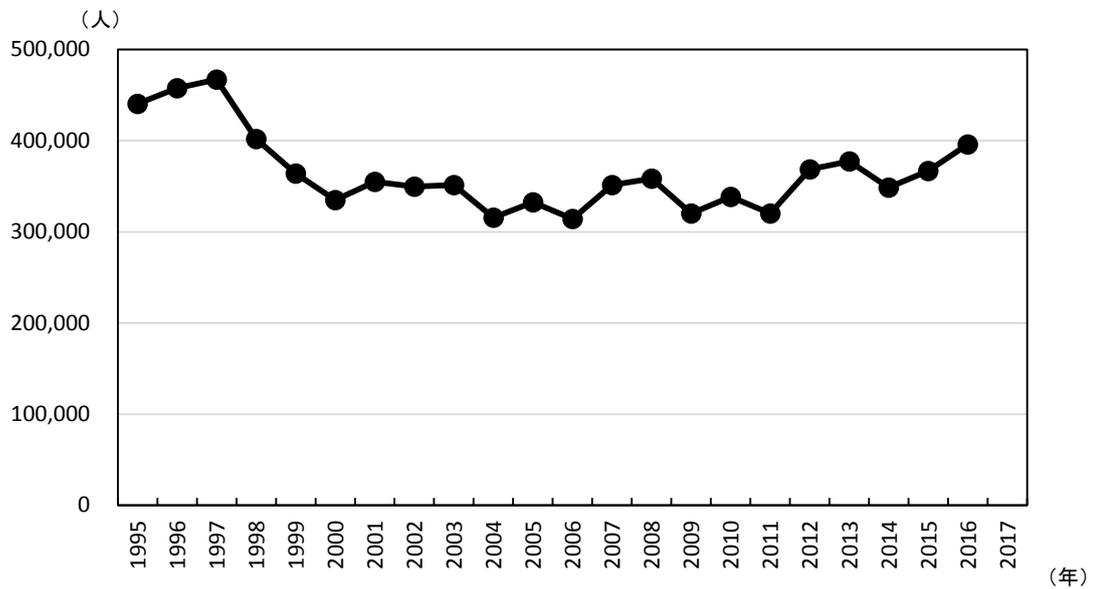
年間観光客数（外国人）



(資料) 廿日市市

- 観光客数は急増しているものの、年間宿泊者数は30～40万人と横ばいで推移している。

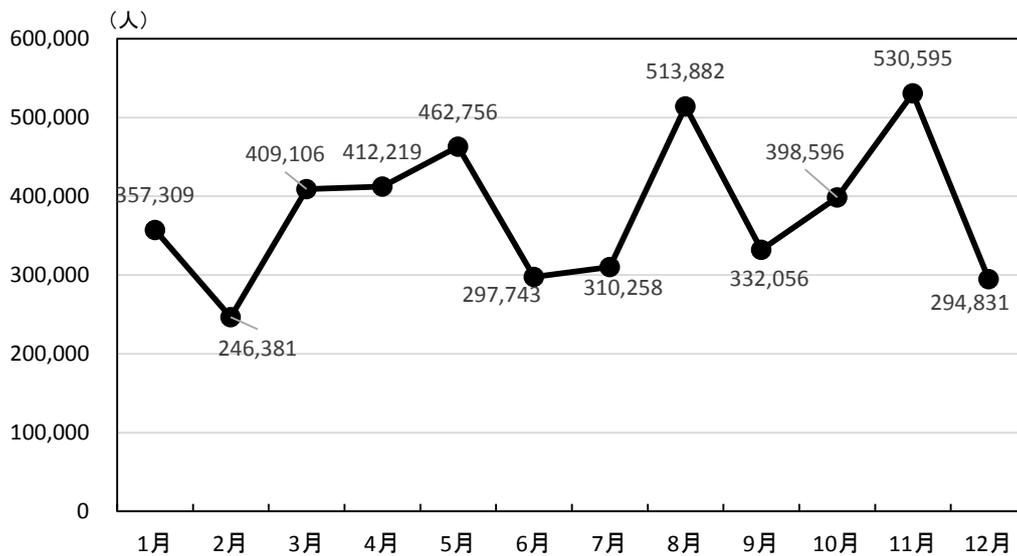
年間宿泊者数（全体）



(資料) 廿日市市

- 月別観光客数は、春季（3～5月）、夏休み（8月）、秋季（10～11月）が多く、逆に、冬季（12月～2月）、梅雨時期（6～7月）が少ない。

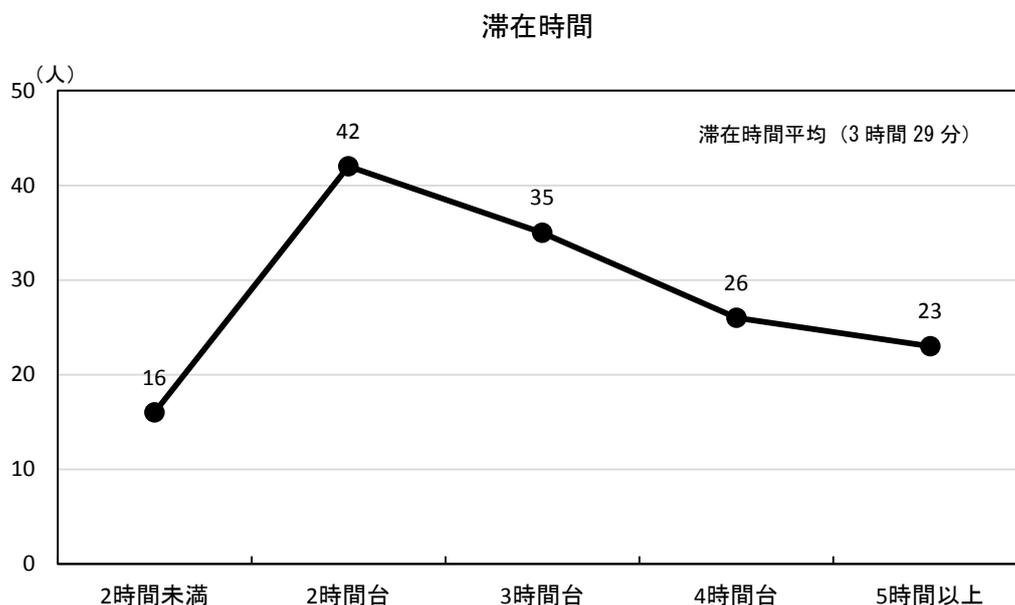
月別観光客数（全体、2017年）



(資料) 廿日市市

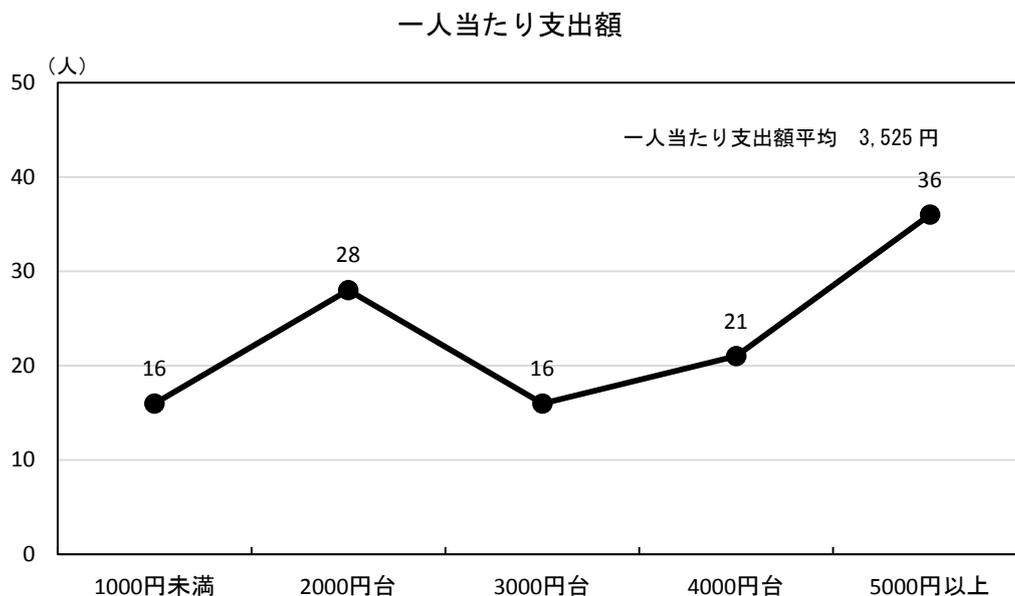
■宮島における観光客の行動（滞在時間，消費支出）

- 平均滞在時間は3時間半程度であり，最も多い時間帯は2時間台である。



(注) 宮島での観光客アンケートの結果（平成23年10～12月の3日間実施し，回答が得られた186人の内訳）。
 (資料) 広島工業大学工学部環境土木工学科，伊藤雅研究室

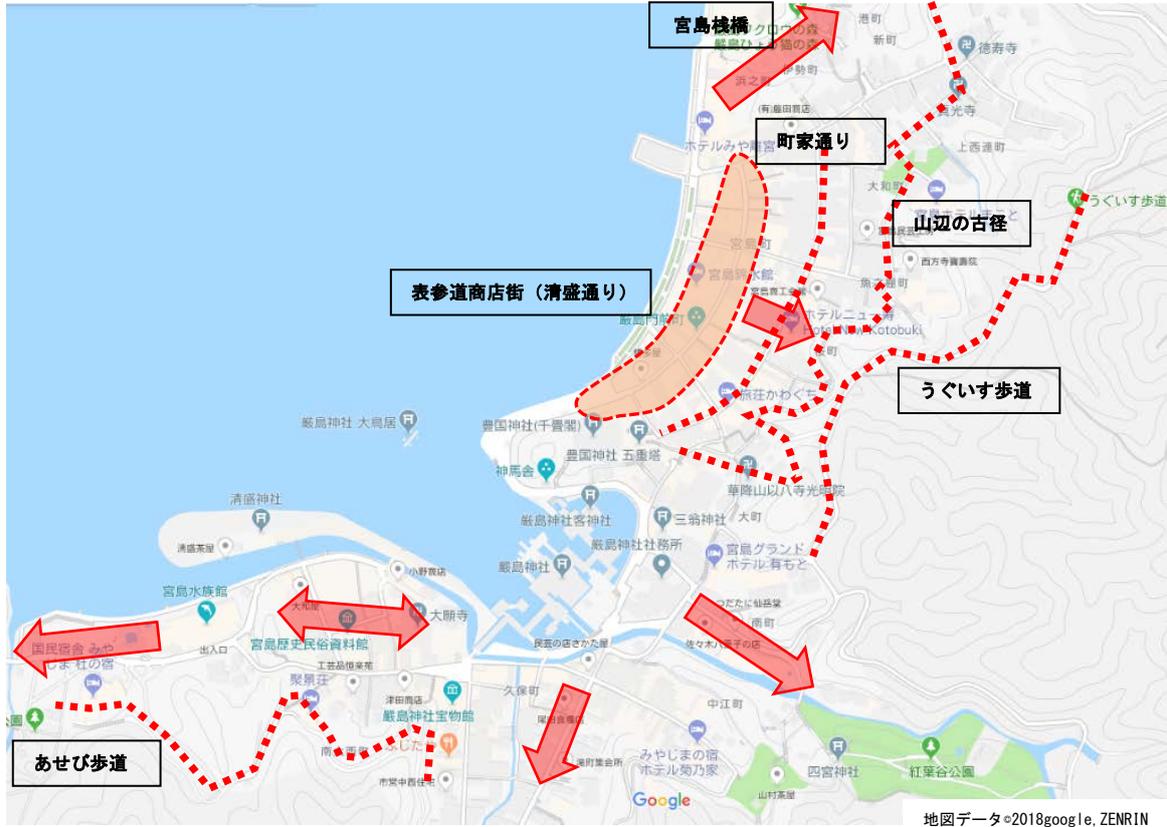
- 観光客一人当たりの支出額は，平均で3,500円程度である。2,000円台と5,000円以上の回答が多くなっている。



(注) 宮島での観光客アンケートの結果（平成23年10～12月の3日間実施し，回答が得られた186人の内訳）。
 (資料) 広島工業大学工学部環境土木工学科，伊藤雅研究室

2. 宮島における混雑緩和に向けた空間的ピークアウトのイメージ

表参道商店街周辺での空間的ピークシフト



宮島島内での空間的ピークシフト



3. 混雑緩和に向けた対応に関する事例

■時間的ピークシフト事例：ナイトライフの充実に向けたナイトツアー等（和歌山県高野町）

- ・ 「高野山」ならではの体験として、写経（心身を鎮めて、般若心経を一字一字書き写す）や勤行（各宿坊での朝のお勤めに参加）などを実施している。また、新たな取組みとして、高野山奥之院ナイトツアー（有資格ガイドとともに奥之院に夜参りする。原則毎日催行）、お速夜ナイトウォーク（弘法大師・空海が入定した前夜にあたる毎月 20 日に奥之院を参拝）、伽藍ナイトツアー（夜の壇上伽藍を巡るツアー。週 5 回催行）を実施している。なお、これらのツアーは高野町以外の各団体が実施している。



高野山奥之院ナイトツアー
（主催：（株）AWESOME TOURS）



お速夜ナイトウォーク
（主催：（一社）高野町観光協会）



伽藍ナイトツアー
（主催：koyasan+（高野山を伝える僧侶の会））

■時期的ピークシフト事例：冬季の旅行商品づくり（奈良県）

- ・ 奈良県では、宿泊客数の減少する時期（冬季など）に複数の誘客効果の高い旅行商品を企画し、旅行会社に提供している。
- ・ 「うまし奈良めぐり」の冬季版として平成 29 年度に実施した「うまし冬めぐり」（開催期間：平成 29 年 12 月～平成 30 年 3 月）では、県内 12 市町村において、秘宝秘仏や建物の特別公開、僧侶や神職の方にご案内いただく特別体験、グルメなど 37 の商品を企画している。

旅行商品例

<p>興福寺： 僧侶のご案内で国宝館早朝 拝観、東金堂・後堂早朝拝観</p>  <p>早朝の奈良</p>	<p>リストラテオオルケストラータ： 奈良伝統文化「雅楽」と 「イタリアン」を 楽しむタベ</p>  <p>奈良の伝統 文化「雅楽」</p>	<p>梅乃宿酒造：「梅乃宿」蔵見学</p>  <p>梅乃宿酒造蔵見学</p>	<p>金峯山寺： 修験僧侶（山伏）と 内諸堂一日ミニ修行</p>  <p>金峯山寺蔵王堂</p>
---	---	--	---

■空間的ピークシフトの事例：里山サイクリングの実施（岐阜県高山市）

- ・ 高山市では、民間事業者が「飛騨里山サイクリング」として、ガイド付きで、市郊外を自転車でツーリングするツアーを行っている。著名観光地を巡るのではなく、飛騨高山の日常的な風景や季節ごとの農村の美しさを感じさせるもので、経験を積んだガイドが里山に広がる文化・歴史を丁寧に案内している。
- ・ 参加料金については、スタンダードは 3.5 時間で一人 7,600 円、ハーフは 2.5 時間で一人 4,900 円となっている。

里山サイクリングの光景



4. 外国人観光客向け「おもてなし」機能の強化・拡充事例

■外国人観光客向け施設整備事例：奈良県外国人観光客交流館（奈良県猿沢イン）（奈良県奈良市）

- ・ 奈良県外国人観光客交流館（奈良県猿沢イン）は、宿泊機能を含む外国人観光客向けの拠点施設として、平成 25 年に廃止となった地方職員共済組合奈良宿泊所『猿沢荘』を県が買い取り改装工事を行った上で、平成 27 年 7 月に開業した。
- ・ 24 室のゲストルーム、24 時間対応の宿泊フロント、観光案内カウンター（J N T O 外国人観光案内所カテゴリー 3）、外貨両替、ランドリー（セルフ）、ツアー・チケット案内、コンビニ、W i - F i （パソコン）無料、手荷物預かりなどの設備を完備している。さらに、予約不要の日本文化の体験、交流イベントを毎日実施している。



施設の概観



日本文化を体験できる和室



観光案内カウンター（フロント）

ムスリム（イスラム教徒）向け礼拝所



■外国人観光客向け施設整備事例：ビジット・ジャパン案内所（岐阜県高山市）

- ・ 昭和 61 年 11 月、J R 高山駅前の「飛騨高山観光案内所」が「i」案内所として指定された。その後、平成 24 年 10 月に外国人観光案内所カテゴリー 1、平成 25 年 12 月にはカテゴリー 2 に認定され、機能向上が図られている。
- ・ 案内所では、英語案内、インターネット無料利用等のサービスが受けられる。



飛騨高山観光案内所

■外国人観光客向け施設整備事例：公衆トイレの整備（和歌山県高野町）

- 高野町では、高野山内の公衆トイレ（13か所）をリニューアルした。周囲と調和した外観とし、設備面では洋式の温水洗浄機能付便座に変更したほか、冬期にも快適に使えるようパネルヒーターを整備した。また、オストメイト付きの多目的トイレも整備している。



■外国人観光客向けサービス機能強化事例：消費免税一括手続きカウンター（岐阜県高山市）

- 年々増加する外国人観光客による市内消費拡大のため、官民が協力し、消費免税一括手続きカウンターを本町三丁目商店街に設置している。商店街単独で設置する“全国初”の免税一括手続きカウンターとなっている。

Consumables

H03XX Tax exemption is for purchases totaling 5,000 yen or more from 4 stores below
 在1~4个店铺合计购买金额在5,000日元以上可退税
 1~4間商店合計5,000日圓以上可享退税
 ໄທໂປຣເຊັດວັນກຳລັງເຮັດ 5,000 ເບັ້ງໄປ ຈາກສະໂຕ້ 1-4 ຈຳນວນ

H0306 伊勢産物
H0306 化粧品売場
H0305 中国産品
H0305 化粧品店

H0311 **H0306** **H0305**

H0308 **H0309** **H0305** **H0309**

Cafe Square Inn

* General goods and Consumables can not be combined

Japan Tax-free Counter
 免税カウンター
 道附E台 送税機構 問合せセンター
 免税カウンター

General goods

H03XX Tax exemption is for purchases totaling 5,000 yen or more from 3 stores below
 在1~3个店铺合计购买金额在5,000日元以上可退税
 1~3間商店合計5,000日圓以上可享退税
 ໄທໂປຣເຊັດວັນກຳລັງເຮັດ 5,000 ເບັ້ງໄປ ຈາກສະໂຕ້ 1-3 ຈຳນວນ

H0308 日用品売場
H0311 L'ETERNITE
H0308

■外国人観光客向けサービス機能強化事例：地域限定の特例通訳案内士養成（岐阜県高山市）

- ・ 高山市では、平成 27 年度に中心市街地特例通訳案内士の養成講座、平成 28 年度以降は飛騨地域での特例通訳案内士の養成講座を実施している。
- ・ 区域内において有償での通訳ガイドが可能となり、旅行者の滞在期間の延長、消費拡大等を促進している。
- ・ 平成 29 年の登録者数は、中心市街地案内士（英語）：17 名、飛騨地域案内士（英語）：32 名であり、平成 31 年には、英語：100 名、中国語：40 名を目標としている。



■外国人観光客向けサービス機能強化事例：ムスリム向けマップ作成（岐阜県高山市）

- ・ 高山市では、国や民間のプロジェクトチームと連携し、ムスリム（イスラム教徒）旅行者が安心して食事ができる飲食店や礼拝対応可能な施設などを掲載したムスリム向け市内散策マップを作成することで、旅行者の満足度向上や市内消費の拡大に繋げている。市内ムスリム対応店舗・施設数は、飲食店 15 施設、宿泊施設等 8 施設となっている。



■観光情報提供機能強化事例：無料公衆無線LANの整備（岐阜県高山市）

- ・ 高山市では、市内を訪れる観光客に対してインターネット接続環境や観光・緊急情報等を提供できるよう、平成26年8月からまちなかに無料公衆無線LANを整備している。
- ・ 7日間無料のインターネット接続環境を提供することで、観光客の利便性向上、SNS等による魅力発信に繋がることを期待している。また、必要な観光・緊急情報をメール送信することで、安心・快適な滞在を実現している。

無料公衆無線LANのエリアと、表示マーク



■観光情報提供機能強化事例：多言語案内板の整備（和歌山県高野町、岐阜県高山市）

- 高野町では、景観に配慮した案内板の整備を進めている。日英語を併記しており、英語表記では「意味が伝わる」ことを徹底するほか、世界共通のピクトグラムを利用し、「見たら直観的に解る」表示としている。



- 高山市では、外国人が安心して一人歩きできる環境づくりを目指し、多言語併記の誘導案内板の整備を行っている（支柱型 40 か所、路面埋込型 65 か所（260 枚））。



路面埋込型案内板



支柱型案内板

■観光情報提供機能強化事例：ツーリストインフォメーションセンター「高野山観光情報センター」の開設（和歌山県高野町）

- ・ 高野町では、様々な観光情報を提供し、高野山での滞在時間を延ばすための拠点として「高野山観光情報センター」を平成 30 年度に開設する。少しでも多くのスポットを訪れ、少しでも多くの経験・体験をしていただくことにより、来訪者の満足度を上げてリピーター化させるとともに、満足した観光客が SNS 等で情報発信することで集客に繋がることを期待している。

高野山観光情報センターの完成予想図



5. 宮島と他の瀬戸内海地域の有力観光地との連携強化

宮島周辺の既存港湾とのネットワーク

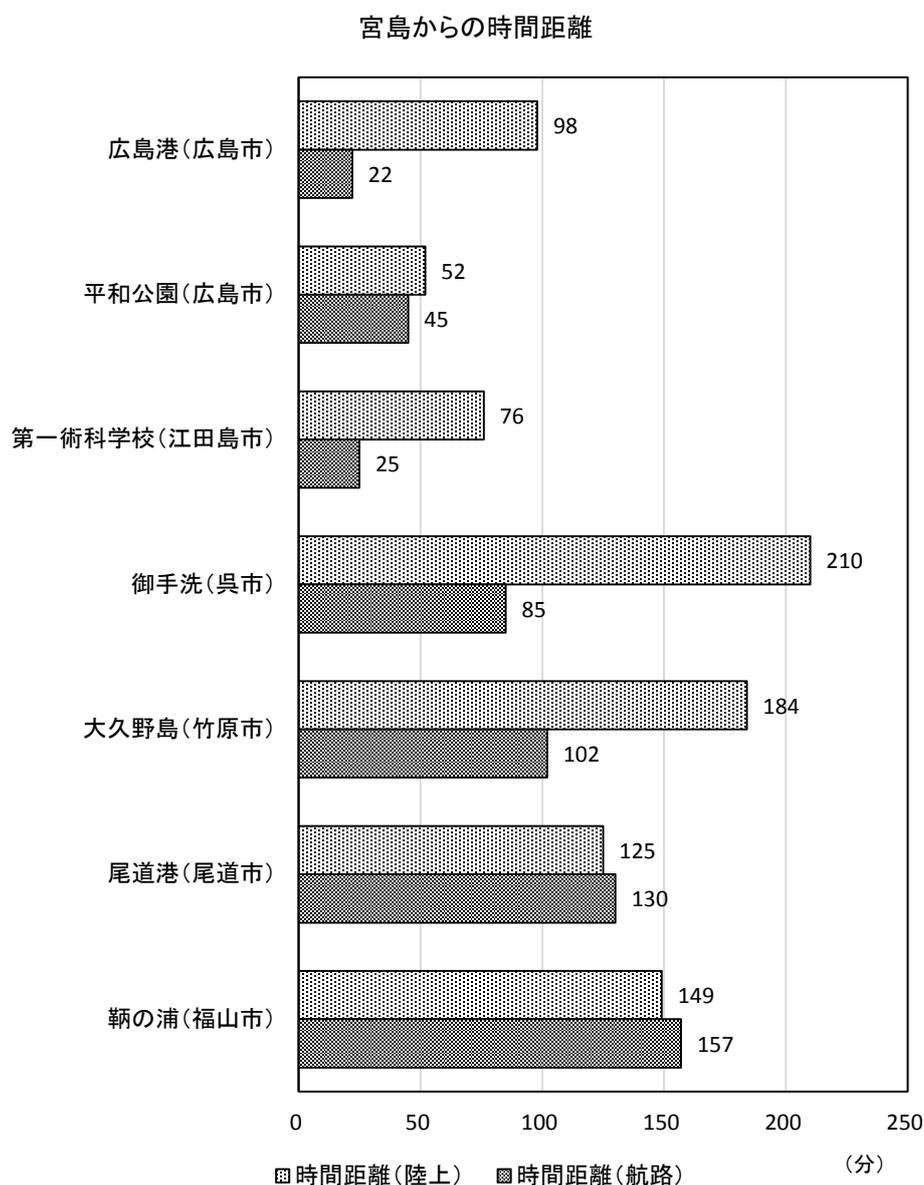


宮島と他の瀬戸内海地域観光拠点とのネットワーク



■宮島と他の瀬戸内海地域の有力観光地との時間距離

- ・ 航路で瀬戸内海地域の観光地を繋ぐことにより、遠回りすることなく、短時間で移動が可能となる。
- ・ 近距離の観光地とは、かなりの時間短縮が期待できる。比較的遠距離の観光地とも、陸上とほぼ同時間の時間距離となっている。



(注) 時間距離(陸上)は、山陽新幹線等公共交通機関を利用した移動(グーグル検索による平日12:00に宮島栈橋出発の例であり、待ち時間を含んでいる。時間帯によっては時間距離に大きな変動があり、あくまで参考値である)。

航路は、45km/hとして移動距離から算出。

(資料) 事務局作成

■瀬戸内国際芸術祭に併せた航路ネットワーク化の事例（香川県等）

- ・ 瀬戸内国際芸術祭は、瀬戸内海の島々を舞台に開催される現代美術の国際芸術祭であり、2016年は100万人以上が来場している（次回は東京五輪前年の2019年開催予定）。
- ・ 芸術祭の開催に併せて、臨時便を就航させるなど、航路ネットワークを整備している。



(資料)「ART SETOUCHI (瀬戸内国際芸術祭等)」ウェブページ